

【不審者対応訓練と防犯教室】

第2回榎邑小学校学校運営協議会を6月23日(木)に開催しました。今回は、不審者対応訓練と防犯教室の様子を、体育館で参観していただきました。参観後、「不審者と距離をとる、不審者に刺激を与えないという対応のしかたがよかった。」「放送（不審者が体育館周辺にいます。）は、ストレート過ぎるのでは？」「日頃から大きな声で挨拶をするなどの練習が必要ですね。」といったご感想やご意見をいただきました。不審者への初期対応（距離のとり方、大きくはっきりした声での声かけ、毅然とした態度、不審者の観察）については、真庭警察署の方からもお褒めの言葉をいただきました。校内放送については、「暗号よりは、起こっている事実をそのまま伝えるべき。不審者本人は、ぼやっとしか聞こえていない。」と、ご指導いただきました。大きな声での挨拶については、繰り返し指導や声かけをしていこうと思います。「大声大会等で、声を出すことを練習しては？」というご意見も委員さんよりいただきました。ありがとうございました。

かしむら コミュニティ・スクール つうしん

令和4年6月号 榎邑小学校運営協議会 発行（文責：山本信子）



【学校の様子】

お一人ずつタブレットを使って、委員さんに榎邑小学校のホームページを見ていただきました。子どもたちの活動の様子や学校だより（カラー）等をホームページにアップしていますので、『真庭市立榎邑小学校』を検索してみてください。見られてのご意見ご感想等、お声を学校まで届けていただけるとありがたいです。



訓練や防犯教室の様子です。ホームページにもアップしていますので、ご覧ください。

協議の中での意見（波線が委員さんからの意見です。）

☆よりよい檜邑小学校づくりアンケート → 曖昧な表現があるので、再考察の必要あり。項目によっては、わかりやすく分けた方がよい。保護者にも子育てを楽しんでほしい。家庭に笑顔があることが大切。大声を出す訓練（鳴き声コンテスト等）をしてはどうか。卒業した先輩の体験記を聴く会の企画もよいと思う。

☆挨拶について → 意識付けが大切。その子にとって、将来のプラスになってほしい。

☆6月11日(土)『かしむら学』アンケートより抜粋

(学校の教育活動等に対するご意見ご感想を、かしむら学を聴講してくださった方よりいただきました。)

- ・今回の歴史についての話は、とても楽しみにしていました。これからも地元の人達が集える企画をお願いします。
- ・久しぶりに学校に来ました。10年ほど前、保健所の仕事ということで、話にきたことがあります。懐かしいです。
- ・やさしいことだけではなく、たまには、難しいことを聴くのも大事だと思います。(例)私は、小学校の時、百科事典の数列のN次式みたいな難しいことに興味をもち、大学では、おもしろく、数学が得意になりました。
- ・極小規模であること、檜邑のヒト、コト、モノを有効に活用した独自の教育 他校と同じではいけない。生活科、総合、特活こそ大切にしたい。ミツマタ、紙漉き、ドングリ広場を活かす。校歌をめぐる。旧街道を遠足する。
- ・檜邑の人々とつくる檜邑の学校であること。コミュニティ・スクールの本来の目的に合致すること。小学校がないところに若者（子育て世代）は、来ない。小学校は、地域の活力。
- ・郷育は、地域を愛する人を育てるにとどまってはいけない。この地において幸せに生きていくことができる＝経済的自立とコミュニティ力、それを自覚し、可能にする学力をつける。

→ 学校が集える場になるとよい。校内に「わたしの好きな檜邑」を掲示するのもよい。

かしむら学

「知られざる檜邑の歴史2」決定！

※大人向けの講座です！

日時：令和4年11月16日(水)

13:30~15:30

真庭市立中央図書館へ見学した時の記念写真です。たくさんの本やさまざまな工夫に、驚きました。全校児童8名だからこそその取組や活動にこれからもチャレンジしていきます。

いつも応援をありがとうございます。そして、今後もよろしくお願いします。

